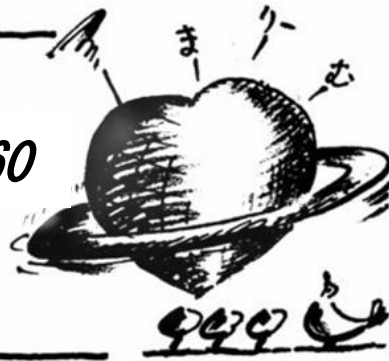


万里夢 No. 60

NPO・えん ニュースレター

2014. 1. 1 発行



NPO・えんは、市民活動・まちづくり・
女性のキャリア実現をサポートします！

- ◆「役員&スタッフ 新年の挨拶」 1 P.
- ◆「活動報告」 2 P.
- ◆「保護司・中澤照子さんの思い」 3 P.
- ◆「スタッフのかわりばんこ日記」 4 P.

謹賀新年。今年もよろしくお願ひ申し上げます。～役員&事務局スタッフご挨拶～

昨年は、私生活で大きな変化を経験しました。新年を迎え、世の中は妙に安定しているように見えますが、こういう時こそ個人の役割を考え直す機会にしたい。（代表理事・根本久仁子）

新しい年を迎えられたことに感謝します。昨年もしっかり思量することなく過ぎてしまった気がします。音楽の力に魅了された一年でもありました。ジャンルを問わず楽しめました。（副代表理事・関根啓子）

これからの日本は、富めるものは豊かに、貧しいものはいつまでも貧しく、そのような方向に進んでいくのでしょうか。全体として成長すれば、弱いものを置いてきぼり、NOと言っていきます。（理事・阿部名保子）

あけましておめでとうございます。といっても、おめでたいとはとても思えない昨今です。この状況に委縮することのない一年でありますように。今年もよろしくお願ひいたします。（理事・奥田公恵）

今年は民主主義を市民の手に取り戻す年にしたい！ 世界に誇れる平和憲法を守るために、市民がつながって、それぞれの足元から声をあげ行動するのは「今でしょ！！」（理事・馬場悦子）

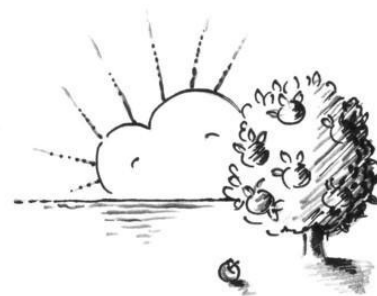
新年明けましておめでとうございます。昨年の自分を一文字で表すと「滞」でした。今年は春の小川のように、サラサラと流れる1年にしたいと思います。（理事・三崎亜紀子）

昨年ほど時の流れが早い一年はありませんでした。このくらいの一年を10回繰り返すのは、そう大変なことではない。人生はあっという間に過ぎていくのだということを実感しています。（理事・村上正子）

列車が34年前、リバプール駅に入って行った時の胸一杯の思いがコンサート最中に甦り、涙が溢れて来た。11月21日の思い出があれば、今年は何だって乗り切って行ける気がする。（事務局・兼高利枝子）

新年おめでとうございます。今年の目標は一日一万歩にしました。お散歩も人生も、遠回りを楽しみたいと思います。（事務局・工藤久美子）

何事でもなかなか難しいのが、「バランスを保つ」ということではないでしょうか。私の長年のテーマです。まずは、食のバランス！ おせちの食べすぎに気をつけます。（事務局・長島喜美子）



NPO・えん自主事業

～えんカレッジで女性へのエールを！～

女性のキャリア実現のサポートを目的にした「えんカレッジ(encourage)」。秋の講座を6回に渡り開催し、計70名の参加がありました。

「いつものパターンを打ち破る 人間関係をよくするコツ」(10/4・10/18 講師：米国CT認定プロフェッショナル・コアアクティブ・コーチ 平田香苗さん)では、人を惹きつけてやまない明るいキャラクターの講師とともに、参加者が人間関係をより良くするための糸口を発見していきました。「人生が楽しくなる話し方・聴き方講座」(10/22 講師：フリーアナウンサー 鈴木紀子さん)では、長いキャリアを持つ講師のリードに参加者は安心して従うことができ、多くの実践的な要素を学びました。「子どもの自信を高めよう 自分で考えて、行動する子どもの育て方」(11/1・11/15 講師：生涯学習開発財団認定コーチ やまざきみどりさん)は、女性たちの興味を引くテーマとワークを中心にした内容で、参加者からは「もっと聴いていたかった」といった声などが聞かれました。

「～プチ起業を考える女性のための～自分らしいキャリア探しと自己PR文の作成」(11/7 講師：出版プロデューサー、キャリア・コンサルタント 梅木里佳さん)は、講師自身の実体験をもとにした内容で説得力があり、参加者へのアンケート結果でも高い満足度を得ることができました。

年明け以降、えんカレッジは次のようなラインナップを予定しています。「女性のための個人事業主の会計・確定申告」(2/4 講師：税理士・行政書士 細谷有子さん)、「仮面作りワークショップ」(2/21 講師：アーティスト いちむらみさこさん)、「話し方&コミュニケーション」

(2/27・3/6 講師：フリーアナウンサー・日本語教師 橋谷能理子さん ※TBS系「サンデーモーニング」出演中)。詳細は、ホームページ他で随時告知致します。(根本)



多世代交流ひろば パルひろば辰巳

～「秋の展示会」を開催しました！～

昨年度までは年に1度、「パルぷらすまつり」として秋に開催されていたイベントが、今年度からは、「秋の展示会」と「春の発表会」の2本立てによる開催となりました。展示会は、ひろばで活動しているサークルや地域の人々の手芸や絵画などの作品を展示し、来場者に見ていただくという催しです。発表会は、やはりサークルや地域の人々に、歌や踊りなどをひろばで発表していただくというものです。

今年の展示会は、11月16日から29日まで開催されました。ひろばの壁や棚には、「水彩 秋桜の会」「絵習字あじさい」「たつみ川柳会」といった、ひろばで活動しているサークルの方々の作品や、最近の「たつみんさろん」で作られた押し花を使った葉などの作品、また、地域の方々が趣味で作成した布バッグや小物、人形などが展示され、これらの作品は来場した人々の目を楽しませてくれただけでなく、「わあ～、皆さん、本当にお上手ですね」「いえ、私も初心者だったんですけど、先生に指導していただいたら、こんな風に描けるようになったんですよ」「私もサークルに見学に来てもいいですか?」といったような、親密なコミュニケーションをも生み出しました。

特に初日の16日には、恒例の「スープの会」も同時開催されたため、地域の高齢者が食事をしながら作品とコミュニケーションを堪能できる、といった場がひろばに展開されました。(兼高)



オープニングイベント「スープの会」を楽しむ人々。

特別 インタビュー

保護司・中澤照子さん ～「十人十色の一灯」への思い～

江東区辰巳にあるえんの事務所のご近所に、ひとりの女性保護司さんがお住まいです。中澤照子さん。長年、地域の見守りをしてきた中澤さんに、地域社会や人と人の関わり方などについて、事務局がお話をうかがいました。

あのおじさん、おばさんはどこに？

「照子ちゃ～ん。ウチの子がぐずってるから、一緒に学校に連れて行っておくれよ！」私が育った時代には近所を歩いていると、そこいらじゅうからそんなおばさんの声が掛かったものです。縁台に座ったおじさんからは、「おかえり。今日は暑いね!」。あの頃の、ああいうおじさんおばさんは、一体どこに行ってしまったんでしょう。

今の人たちは、自分の子供にしか関心がない。歩道で子供が遊んでいて、「あ、あんなことして危ないなあ…」と心の中で思っている、思っているだけ。すぐ目の前で危ないことが起こっていても、見ただけで、発信しない。町からは、縁側もなくなってしまいましたね。車道か歩道かしかない。公園にベンチがあっても、ホームレスの人が寝っ転がれないように、真ん中に出っ張りみたいのがついちゃってる。人を冷たく拒絶しているんです。

だから、今の時代のお母さんたちは、昔のおばさんたちがしていた役割を意識的にやらなきゃいけないと思います。「元気そうだね!」「疲れているの?」道で誰かに会った時に、挨拶だけでなく、ひとことつける。スーパーで知り合いに会ったら、「どーも」だけでなく、「寒いから、鍋にしようと思ってるのよ」「いいですねえ～」。会話が始まる。

深く会話に参加するのではなく、ちょっと参加するだけでいいと思うんです。強い絆は負担ですよ。糸の半分と書いて、絆です。お互いが半分ずつ持つてるくらいで、ちょうどいいんだと思います。

中澤照子さん:辰巳地域で知られる保護司さん。長年、地域の少年たちとその家族を、温かく見守ってきた。心の拠り所のない少年たちに手作りのカレーをふるまう「カレーのおばさん」としても、たびたびマスコミに取り上げられている。中澤さんにお世話になった少年たちは成人してからも彼女を慕い、温泉旅行を彼女のために企画するなどの関係がつづいている。

よしっ。私は「貧者の一灯」で行くかっ!

これまで関わって来た子供たちには、いろいろな子がいました。例えばひとりの子に、多い時には一ヶ月に40回以上、会ったこともあります。

彼女から電話がかかって来て、真夜中の公園でふたり、ベンチにずっと座っていたこともある。彼女が滑り落ちる寸前で、「中澤さんに会おう。電話しよう」と思ってくれる。



えんが運営事務局をしている「パルひろば辰巳」で講演する中澤さん。

15年ほど前、ある会合でお会いしたお坊さんが、どこかで耳にされたらしい私の活動を誉めて下さった。世間でさして目立たない私の活動を、よく見て下さったと感動していたら、「一隅を照らすのが坊主の仕事ですから」とおっしゃられた。それを聞いて、「なるほど。それじゃあ、私は『貧者の一灯』で行くかっ!」って。(笑) そうなんです。私の名前は照子でしょ? 人を照らす子。母親が、そういう思いも込めて付けたようなんです。

その後、「十人十色の一灯」という言葉を、私自身で考え出しました。皆さんどなたでも、一灯を持っていらっしゃる。サーチライトでも、ペンライトでも、蠟燭でも、なんでもいいんです。灯りを持っていれば、その灯りに照らされる人もいれば、その灯りに辿り着く人もいます。その灯りを見て、ほっとする人だっているかもしれない。一灯のように人間ひとりひとりの良さが必ずあり、それを自覚するだけでも、悪い展望が良くなって行く。そんな思いを込めて作った言葉です。

連載

事務局スタッフ かわりばんこ日記



ラジオ体操がブームだと聞き、それではと始めたのがおとしの7月。

朝6時25分から10分間、テレビの前でお馴染みの曲に合わせて身体を動かしています。寝不足のときは形だけ！そんな日もありますが、思いっきり背伸びをしたり横曲げをしたり気持ちよく身体が起きてきます。使っていない筋肉を動かすことで眠っている運動能力が目覚めるそうです。

真剣に体操するとそれなりの運動量があり、少

しは、運動不足解消になるかしらと期待しているのです。

体操をしながら、毎朝、同じ時間に外を眺めると、天気ばかりでなく、日が昇るのが遅くなったみたいなど都内に住んでいるとなかなか気づかない季節の移ろいも感じることがあります。

このまま散歩に出かけたら気持ちがいいだろうなと思うこともあります。現実には、洗濯機の前に直行。慌ただしい一日のスタートです。

(事務局・長島 喜美子)



NPO・えん特別セミナー



会員、及び講師養成スクール修了生の方々に向け、特別セミナーを開催します。テーマはブログ、ツイッター、フェイスブック、LINE等の『ソーシャルメディアとどう付き合うか』ソーシャルメディアコンサルタントとしてツイッターやフェイスブック等を活用したビジネス・コンサルティング、非営利団体や企業の社会貢献活動の推進・支援に取り組んでいらっしゃる市川裕康さんを講師にお招きして、お話を伺います。

■日時：3月8日(土) 14:30~15:30

■場所：パルシステム東京辰巳店3F第2会議室
(有楽町線辰巳駅徒歩3分)

■テーマ：『ソーシャルメディアとどう付き合うか』

■講師：市川裕康氏

(株式会社ソーシャルカンパニー代表取締役
<http://www.socialcompany.org/profile/>)

■参加費：1,000円

■申込方法：氏名、連絡先をお知らせいただき、下記までお申し込みください。

Tel&Fax：03-3522-0302

Email：npo-en@npo-en.com

編集後記



★「犬養頼む。軍を抑えてくれ。頼む」—1931年、昭和天皇は参内した首相・犬養毅にそう云われたという。昨年12月23日、80歳を迎えられた天皇陛下は記者会見の中で、日本国憲法について触れられた。この事実に天皇陛下の並々ならぬご覚悟を感じてしまうのは、私だけだろうか？今年一年、この国は、一体どんな方向に向かって行くのだろうか…。(兼高)

編集/発行 特定非営利活動法人 NPO・えん

〒135-0053 江東区辰巳1-1-34

パルシステム東京つつみ店2F

TEL.&FAX：03-3522-0302

e-mail：npo-en@npo-en.com

URL：http://npo-en.com/



NPO・えんは、こんな支援ができます！

♥ 女性のためのキャリアサポート

「えんレッズ事業」を始め、女性のキャリアづくりのお手伝い。

♥ まちづくりのサポート

地域の多世代交流ひろばの企画運営、市民労働への提言活動、NPO・企業・行政のネットワークづくりの推進など、さまざまなまちづくり支援。

♥ NPOのサポート

NPOやワーカーズ・コレクティブ立ち上げのサポート。
NPOやCBに関するセミナーの企画、開催など。

NPO・えん 会員募集中

* 年会費：個人 1口3,000円(何口でも)

団体 1口3,000円(2口以上)

* NPO・えん会員状況(2014年1月1日現在)
会員数65名

【正会員31名/賛助会員34名(内団体2)】

* ボランティアも募集。詳しくは事務局まで。

